

英語屋さん 浦出善文

ソニー創業者・井深大に仕えた4年半

それから2年余りが経った。私は営業の現場で係長になっていたが、いろいろと仕事をやっていくうちに、「このままサラリーマンをやっていて、自分は10年後、20年後にハッピーな人生を送っているだろうか?」と思い悩むようになった。たとえ管理職になれたところで、自分で納得のいく、満足できる仕事をしていなければ人生は無意味だ。そう思い至った私は、会社を辞めて独立することにした。

折から、原因不明の腰痛にも悩まされていた。一時は、まっすぐ立って歩けないほどひどくなった。井深さんが社内に作っていた東洋医学の診療所で鍼灸の治療を受けたおかげで何とか歩けるようにはなったが、このような身体の不調も私が会社を辞めるに至った遠因だったかもしれない。なおこの腰痛は、私が会社を辞めると同時に完全に治ってしまった。その当時は気がつかなかったが、自分で思っていた以上に精神的なストレスがふかっていたようだ。

退社の手続きは実にそっけないものだった。当初、私は半紙に筆で黒々と「退職願」と書いたものを、上司の机にバーンとたたきつける自分の姿を想像していた。しかし実際は、会社が用意してある所定の用紙に理由と日付を書いて判を押し、庶務の女性に渡すだけだった。

退職理由を書く欄は、「私は( )により……」のカッコ内に適当な言葉を入れなさいという、まるで入試問題のようなものだった。それを見た私は、苦笑しながら「私事都合」とだけ書いた。日本の会社を自ら辞める場合、これ以外に書く言葉などあるはずもない。

1961年生まれ

#### 【翻訳小僧のプロフィール】

名前： 浦出 善文 (うらで よしふみ) 翻訳者・文筆業 (東京都新宿区)

<http://www.bekkoame.ne.jp/~urade/profile.htm>

※掲載日：1996年5月28日／最新更新日：2014年6月28日

※このページの無断複写・転載は固くお断りします。

©Yoshifumi Urade 1996-2021 All rights reserved.

55歳の時点で、最終更新日。

自分で納得のいく、満足できる仕事をしているのだろうか。。。